

熊本市の水産業

熊本市の海岸線延長は約22km、海域はその沖合約10kmにおよびます。そしてこの干満差の大きい有明海特有の広大な干潟漁場と沖合漁場において、ノリ養殖業、採貝業、小型漁船による網漁業を中心とする海面漁業が営まれています。一方江津湖周辺では清らかな地下水を利用した観賞魚（錦鯉・金魚・メダカ）、富合町、植木町ではうなぎの養殖が営まれています。

中でも、ノリ養殖業は、熊本県の生産量の約7割を占めており、本市水産業の根幹をなしています。

熊本市水産振興センターでは水産振興の拠点施設として、本市地先の漁港・漁場整備や良好な漁場環境の保全、漁業情報の提供・相談や水産技術の指導と普及、人材の育成などの業務を行っております。

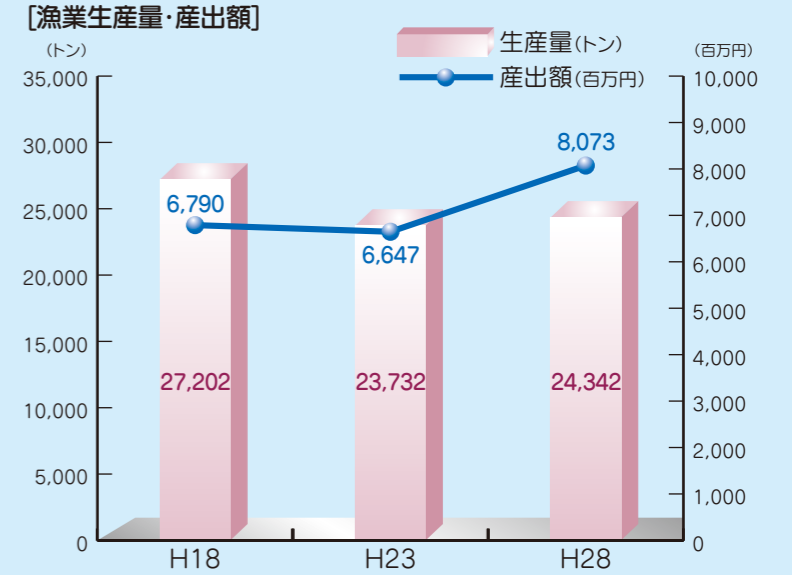
くまもとの海や川でも私たちに身近な魚介類が生産（漁獲）されています。



漁業生産量・産出額

平成28年の漁業生産量は約2万4千トン、産出額は約81億円で、その主な水産物はノリです。

ノリは、総生産量の約99%を占めており、その他貝類、エビ類、魚類などが漁獲されています。



(資料:農林水産統計、漁連共販実績、水産振興センター)

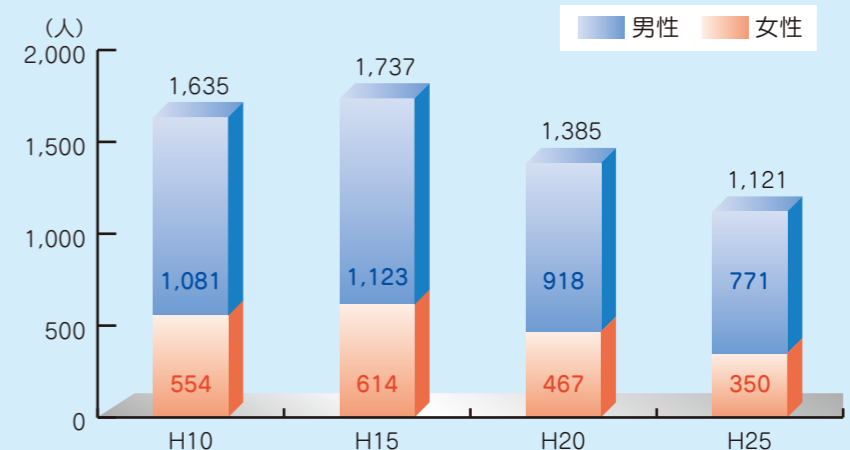
次世代の水産業を担う漁業後継者100名も活躍しています!



漁業就業者数

平成25年の漁業就業者数は、男性771人、女性350人の合計1,121人です。

近年、漁業就業者の減少や高齢化が進む傾向にあります。



(資料:漁業センサス(H10、H15、H20、H25))